

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画(中間案) に対する市民意見公募の結果について

1 パブリックコメント実施概要

- (1) 実施期間 令和 2 年11月14日～12月15日
- (2) 公表方法 「第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画(中間案)」を市の各施設(図書館、グループふじとう図書館、市役所情報コーナー、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンター、各公民館)に設置するとともに、市ホームページに掲載
- (3) 募集方法 郵送、電子メール、ファックスまたは持参による提出
- (4) 募集結果 4 名、1 5 件

2 提出された意見と市の考え方

NO	項目	意見の要旨	市の考え方
1	第 4 章 基本目標 I 1－(1) 乳幼児期からの家庭での読書活動の支援 3－(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実	保育園、幼稚園の未就学児童に対する施策がもっぱら家庭に委ねられている印象を受ける。園の蔵書や園児への読み聞かせ活動などを把握すると同時に、適切な支援が必要ではないか。	家庭での読書活動の支援として、発達段階に応じた読み聞かせ事業を実施することとしております。 読み聞かせ活動等を把握するため、毎年保育園等へ調査をするとともに、各園を巡回して絵本等を配本することとしております。
2	第 4 章 基本目標 I 2－(4) 放課後児童クラブ等における読書活動の推進	よい取組と思う。子どもたちがより多くの本と出合えるように、子どもの家など各施設への徹底した周知をお願いします。	子どもの家や放課後児童クラブ等へ団体貸出の趣旨の説明や周知をし、利用促進を図ることとしております。
3	第 4 章 基本目標 I 3－(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実	「幼稚園や保育園等において読み聞かせ等の機会を提供します」とあるが、それを行うのは図書館職員なのかボランティアなのかを明確にするほうがよい。	ご指摘の部分については、実施主体を幼稚園、保育園等と想定した記述としております。
4	第 4 章 基本目標 I 3－(7) 学校での読書機会の提供・充実	「読み聞かせやブックトーク、こどもの読書週間等での催事」を提供するのは図書館職員なのかボランティアなのかを表記するほうがよい。	ご指摘の部分については、実施主体を学校と想定した記述としております。

NO	項目	意見の要旨	市の考え方
5	第4章 基本目標Ⅰ 4 市図書館における読書活動の推進	全体的に「読書体験は与えるもの」という視点が色濃い。本を書く（作る）とか、感想の発表（文でなく）や意見交換をする体験を通じて自発的な読書につなげていく観点や施策が足りない。	自発的な読書につなげる事業として、小学生対象の子ども司書養成講座や、中学生、高校生等が対象の講座など、読書活動につながる講座の実施を記述しております。
6	第4章 基本目標Ⅰ 4－(15) ボランティアの活動支援・育成	ボランティアは多ければより多岐に活動できるので、ボランティア養成講座は継続的に実施してほしい。	多くの方がボランティアとして活動していただけるよう、ボランティア養成講座を実施し、育成することとしております。
7	第4章 基本目標Ⅰ 4－(17) 中学生・高校生の意見聴取	第3次計画では「意見交換会の開催」となっていたが、今回「意見聴取」と後退した表現になっている。	意見交換会という限定的な形態ではなく、さまざまな機会を捉え、広く意見を募ることができるよう、幅広い観点から意見聴取と記述しております。
8	第4章 基本目標Ⅱ 5－(19) レファレンスサービスの充実	図書館には蔵書に通曉した司書の存在が不可欠である。児童や学生、親のための相談窓口（映像通信を含む）の設置を検討してほしい。	相談窓口については、児童コーナーを始め各受付カウンターで実施するほか、電子メールでの相談にも対応しており、読書に関するさまざまな相談に対応できるよう、研修等で得た知識を職員全体で共有し、レファレンスサービスの充実を図ることとしております。
9	第4章 基本目標Ⅱ 5－(19) レファレンスサービスの充実 6 学校図書館の整備・充実	時間がなく、何を読めばよいのかわからない多くの子どものため、図書館には子どもがレファレンスサービスを受けやすい形態を、学校図書館には学校司書の配置を望む。	図書館では、児童コーナーを始め各受付カウンターを相談窓口としてレファレンスサービスを実施していくこととしております。学校図書館については、市内の小中学校では、規模に応じ司書教諭を配置しており、保護者や地域の方からなる学校図書館ボランティアと連携し、読書相談に対応できるよう努めることとしております。
10	第4章 基本目標Ⅱ 5－(21) ティーンズコーナーの充実	ティーンズコーナーの充実に中高生の意見を取り入れるなら、各校の図書委員との意見交換会の開催や、各校持ち回りでの学校企画コーナーの開設などのほか、何校もの学校が推薦する本は図書館でも多く購入するなど、中高生が市図書館を身近に感じ利用してみたい手立てが必要ではないか。	さまざまな機会を捉え、中学生、高校生から広く意見を聞く中から、ティーンズコーナーの充実を図ることとしております。 また、いただいたご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。

N0	項目	意見の要旨	市の考え方
11	第4章 基本目標Ⅱ 5－(23) 外国語資料等の収集と 情報提供	日本語を母国語としない外国人 児童に対する計画は考えられてい るか。日本語の本だけではなく、 母国語で書かれた本も提供する読 書サービスが不可欠だと思う。	現在、日本語以外の資料として、英 語を始め8か国語の資料、約4,000冊 を収蔵しており、引き続き、子ども向 けの外国語資料を収集していくことと しております。
12	第4章 基本目標Ⅱ 5－(24) 子どもや子育て世代向 けのコーナーの充実	子育て世代の親子に向けたよい 取組と期待する。ロングセラーの 絵本などが再度日の目を見る機会 になると考える。	令和2年12月に設置した読み継がれ る絵本コーナーについては、今後も、 利用状況を確認し充実を図ることと しております。
13	第4章 基本目標Ⅱ 5－(26) 電子書籍についての調 査研究	ネット環境が整いつつある中、 中高生の読書推進のために電子書 籍の調査研究を進める必要があ る。図書館までの距離や時間が無 いなどの問題を解決する一助とな りうると考える。	電子書籍については、調査研究して いくこととしております。
14	第4章 基本目標Ⅱ 6 学校図書館の整備・充 実	市内全小中学校に学校司書の配置 を望む。	学校図書館については、市内の小中 学校の規模に応じ司書教諭を配置して おり、保護者や地域の方からなる学校 図書館ボランティアと連携し、読書相 談に対応できるよう努めることとして おります。
15	第4章 基本目標Ⅱ 6－(27) 読書を楽しめる学校図 書館の環境づくり 7－(29) 家庭・地域と学校図書 館の連携 7－(30) 市図書館と学校等の連 携	学校図書館の充実や学校での子 どもの読書活動の充実を図るに は、市図書館が学校図書館ボラン ティアとの信頼関係を築くことが 重要である。学校図書館ボラン ティアの情報交換会に、市図書館 が参加し、学校図書館ボランティ アの活動状況や抱えている問題点 を把握するべきである。	市図書館が学校等との連携を進める 中で、読書活動に関する情報交換をす るなど、学校図書館ボランティアと連 携を図ることとしております。